

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	音楽	学年	2	担当者	細田 美幸
----	----	----	---	-----	-------

◇ 音楽科の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	言葉のリズムを生かしてリズムをつくろう (3時間)	11	楽曲の構成の特徴を聴き取ろう (2時間)
7	曲にふさわしい表現の工夫をしよう (音楽と言葉を関連させて指揮をしよう) (3時間)	12	曲にふさわしい表現の工夫をしよう (2時間)
8	楽曲の構成の特徴を聴き取ろう (3時間)		独唱の自由な表現を楽しもう (2時間)
9	リコーダーの表現を工夫しよう (3時間)	1	和声的な音楽をつくろう (3時間)
10	合唱の表現を工夫しよう (4時間)	2	総合芸術に親しもう (2時間)
		3	歌詞の内容を生かす表現を工夫しよう (4時間)

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法	%
関心・意欲 態度	音楽に関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での意欲課題に対する到達度 定期テスト ワークシート、楽譜書込み 	25
表現の創意工夫	楽曲の特徴を生かすための表現を自分の思いや意図をもって工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での創意工夫課題に対する到達度 定期テスト 	25
表現の技能	表現に必要な基礎的基本的な技能を使って演奏することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での技能課題に対する到達度 	25
鑑賞の能力	楽曲の特徴や自分が感じたことを言葉にすることを通して、より深く味わうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言・発表内容 ワークシート 定期テスト 	25

◇ 学習のアドバイス

各題材で、『聴く・感じ取る・考える・表現する』という一連の学習の流れを意識して取り組むことで自分の中の感性が磨かれ、知識や技能が身に付きます。そして、学習したことを自分の身の回りの音楽に置き換え、一層音楽を楽しもうとする気持ちで取り組むと課題に前向きに取り組めると思います。

